

<報道関係各位>

2026年1月30日
東日本バッグ工業組合

【イベントレポート】

「BAG MAKERS TOKYO '26 EXHIBITION」メディア発表会を実施

職人技とデザインが融合したコラボレーション製品を披露！GINZA SIXにて一般来場者向け展示・受注会を開催

東日本バッグ工業組合（所在地：東京都台東区、理事長：秋元直紀）は、2026年1月30日（金）、銀座 蔦屋書店 イベントスペース（GINZA SIX 6F）にて、「BAG MAKERS TOKYO '26 EXHIBITION」メディア発表会を開催しました。



■ 素材ダウンロードURL(コラボ製品オフィシャル画像、投影資料)：

URL：<https://vectorincgroup.box.com/s/gtzhc8nqrm7m0ry5vigc5cvwc75blpex>

「BAG MAKERS TOKYO」とは、東京都を中心に東日本エリア120社（令和7年10月現在）の袋物製造事業者が加盟する団体であり、2021年度より東京都中小企業団体中央会の支援を得て、伝統ある東京のものづくりの一角を為す業界全体の活性化に取り組んでおります。

本発表会では、江戸時代から100年以上続く東京の袋物産業が抱える構造的課題に向き合い、産地ブランド「BAG MAKERS TOKYO」の取り組みと、デザインオフィス nendo との協業による新たな可能性を発信する場として開催されました。ブランド紹介や新製品発表に加え、特別トークセッションを通じて、伝統産業のこれからのあり方を提示しました。

会場には、認証を受けた加盟企業各社のオリジナル製品も多数展示され、来場者は業界の技術力と感性を体感。工業組合の意義やものづくりへの想いを五感で伝える展示会となっています。

製品開発の舞台裏を語ったトークセッション



トークセッションでは、「伝統と革新の融合 — 東京のクラフトマンシップとファッション」をテーマに、伊藤氏、秋元理事長、山縣事務局長が登壇しました。東京の袋物産業が培ってきた技術力と、業界が直面する課題を踏まえながら、「BAG MAKERS TOKYO」立ち上げの背景や、産地ブランドとしての価値をどのように伝えていくかについて活発な意見が交わされました。

東日本バッグ工業組合 事務局長 山縣幸典からは、職人の高い技術力がありながらも事業継続が難しくなっている現状に触れ、「職人の皆さんの強みを引き出す“器”をつくれれば、すごい職人の集合体ができるのではと思ったのがきっかけでした。そこで情報発信力のあるnendoさんと協業することになりました」とコメント。

nendo マネージングディレクター 伊藤明裕氏は「表層的なデザイン制作では意味がないと考え、制作以前に『どうあるべきか』を徹底的に議論した」と語りました。デザインの視点から見た職人技の魅力や、今回のプロジェクトに込めた想いが共有されました。

東日本バッグ工業組合 理事長 秋元直紀は最後に、「職人の高い技術が詰まったバッグなので、ぜひ見て、触れて、感じて帰っていただきたいです」と締めくくり、それぞれの立場から産地としての今後の展望や、本取り組みが業界にもたらす意義が語られました。

“裏と表が曖昧なバッグ”をテーマにしたコラボレーション製品「MAQL」（マクル）が新発売



製品開発にあたっては、BAG MAKERS TOKYOが強みとする「見えない部分にまで丁寧にこだわるものづくり」を最大限に活かしながら、裏と表の構造やディテールをあえて際立たせたシンプルなデザインを追求しました。

今回のバッグのコンセプトは「裏と表が曖昧なバッグ」。見た目がシンプルであるがゆえに、そのコンセプトを実現するためには職人の高度な技術が不可欠であり、細部に至るまでこだわり抜いて仕上げられています。

側面の滑らかな曲面を表現するために、生地の際をギザギザに加工し手縫いで仕上げることで独特のフォルムを実現しました。また、革を裏返した際にロゴが反転する仕様とすることで、“裏”の存在を印象づける工夫も施されています。こうした伝統技術と現代的なデザインの融合により、新たなバッグのあり方を提示しました。

■MAQLハンドバッグ ¥198,000円（税込）

■MAQLチャーム ¥66,000（税込）

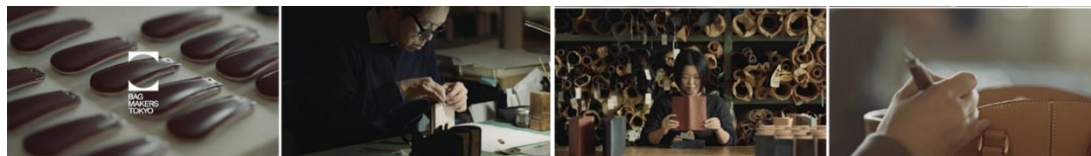
リアルとデジタルを融合した展示会 「BAG MAKERS TOKYO '26 EXHIBITION」



「BAG MAKERS TOKYO '26 EXHIBITION」は、東日本バッグ工業組合が展開する産地ブランド「BAG MAKERS TOKYO」の認証製品を一堂に集めた展示会です。

会期は2026年1月30日（金）から2月1日（日）まで、会場は銀座 蔦屋書店 イベントスペース（GINZA SIX 6F）にて開催しました。会場では、BAG MAKERS TOKYOの認証を受けたバッグや革小物など、約30点の製品を展示。各製品には認証番号とQRコードが付与されており、来場者はスマートフォンを通じて、製造背景や職人の想いなどの情報を確認していました。また、本展示会では一般来場者向けの受注会も開催され、製品を実際に手に取りながら、素材感や仕上がりを確かめられる展示となりました。

【BAG MAKERS TOKYOについて】



東日本バッグ工業組合が2021年に立ち上げた東京の袋物産業の産地ブランドです。

世界に誇る技術力を持ちながら市場縮小と後継者不足に直面する東京のバッグづくりを次世代へ継承するため、製品認証制度やトレーサビリティシステムを導入し、「製品力はあるが、売る力が弱い」という構造的課題の解決に取り組んでいます。

認証製品には固有の認証番号とQRコードが付与され、製造背景や職人の想いを消費者に直接届けることで、東京の職人技の価値を可視化しています。